

雑感

存在することの価値

綾野剛が産婦人科医で謎の人気ピアニストを演じていたドラマ「コウノドリ」を毎回楽しみに見ていました。妊婦さんやその家族が悩み葛藤するのですが、産婦人科医の鴻鳥サクラの温かく寄り添うような関わりのおかげで、勇気を持って自分で問題を解決していく姿が感動的でした。娘に自分の命と引き換えに亡くなってしまった妻のことをなんて伝えればいいのか悩むシングルファーザーに、サクラは言います。「お母さんはメイちゃんが生まれることを心から喜んでいただたと話してあげてください。それだけで人は強く生きていけるんです」そんなだよなあ。ただ生きてること。存在していること。そのことを喜んでくれる人がいることが、生きる勇気になるんだよなあと、目頭を押さえながらテレビに釘付けでした。

子どもが生まれてしばらくの間は、赤ちゃんがただそこにいることだけで喜ん

でいたのに、その成長と共にだんだん要求水準が上がってきて、いつの間にか「勉強できなくちゃダメ」、「友だちと仲良くしなくちゃダメ」になってしまう。そうなる子どもは「勉強できない自分はダメな子」、「ケンカばかりするオレは悪い子」と、自信を失ってしまいます。「何かができる」という自信も大切ですが、実はそれよりもずっと大切な自信があります。それが「存在することへの自信」です。ただ生きてること、それだけで喜ばれるという経験こそが子どもの生きる力となるのです。

先日、精神科医の明橋大二さんがお忙しい中、箕面こどもの森学園のスタッフ研修に来てくださいました。「自己肯定感とは、生きていく価値があると思える心のこと」とおっしゃっていました。明橋さんもコウノドリも、そんな大切なことを温かい気持ちを添えて伝えてくれたのでした。(守安)

こんな学校に出会いたかった！！
♪♪ 箕面こどもの森学園生徒募集 ♪♪

2015年度と2016年度の小学部・中学部の生徒募集をしています！

自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか？

- 募集人数：
- 2015年度入学 各学年 若干名
 - 2016年度入学 小学部 1年生 7名
 中学部 1年生 7名
- 対象年齢：小学部 6～12歳
 中学部 12～13歳

場所：箕面市小野原西6丁目15-31

見学：月・水・木曜日
体験入学：見学の後、小学部は5日間、中学部は8日間の学習体験をしていただきます。

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。
※ 見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。
TEL&FAX 072-735-7676
メール info@kodomonono-mori.com



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分
<http://kodomonono-mori.com/blog/?p=4724>

《編集後記》

明けましておめでとうございます。みなさまは、新しい年に向けてどのような夢や誓いを立てられたでしょうか？ 昨年はこどもの森学園が長年実現を願っていた「ユネスコスクール」、「認定NPO法人」、「中学部設置と校舎の建設」と、複数の夢が一挙に叶った年になりました。今年も新しい夢の実現に向けて、子どもたちを真中に、会員、保護者、スタッフが協力し合って、さらに一歩一歩前進したいものです。(松崎)

各種イベントのお知らせ (1月～3月)

中学部入学説明会

1月30日(土)10時30分から中学部入学説明会を開きます。現在、小学5・6年生が対象です。詳しいことは学園事務局にお問い合わせ下さい。

Tel&Fax 072-735-7676
メール info@kodomonono-mori.com

イエローレシート・キャンペーン

毎月11日、イオンが指定した場所でお客さんからレシートを集めると、領収書に記された金額の1%がイオンからNPO法人に寄付されます。こどもの森にとって、これは学園の教材費購入の貴重な財源の一部になっています。毎月11日のお買い物の際は是非ご協力をお願いします。従来この活動は、運営委員だけで行われていましたが、昨年の9月から「きん

かんの会」のご協力、毎月保護者の方々と交代で参加されています。時には子どもさんも一緒に参加され、愛らしさを魅力に、大活躍しています。

みのおチャリティタウン・プロジェクト

市民活動フォーラムみのおが主催する「みのおチャリティタウンプロジェクト」の寄付先団体として今回もエントリーすることができました。箕面市内の19のお店にご協力いただき、そのお店での買い物の一部が寄付先団体に寄付をされるという仕組みです。期間は2月末まで。すてきなお店ばかりですので、箕面方面にお越しの際は、ぜひ協力店舗にお立ち寄りください。協力店舗一覧は次のURL (<http://www.facebook.com/minoh.ctp>) からご覧ください。



共同プロジェクトで六甲山へ

中学部の2学期の共同プロジェクトは「国内旅行」。行先から交通手段、タイムスケジュール、食事などすべて自分たちで話し合っ決めて、分担して準備しました。北海道から近所までいろんな案の中で採用されたのは六甲山。スタッフのつながりで借りられる山荘を拠点とし、六甲山牧場とフィールドアスレチックに行くことになりました。しおりをまとめる人、料理全般を取り仕切る人など、それぞれが自分の役割を担い、共同で六甲山への旅行を企画しました。

当日はスケジュールよりも早めに動くことができ、思い思いに過ごす時間としっかり協働して料理をする時間もできました。話し合うことから準備を進めることまでいくつもの困難を乗り越えて、楽しんで帰って来ることができました。学校での発表では、動画を協力して編集して、旅行の様子をリアルに表現し、ハプニング集も作って楽しさをわかりやすく伝えました。共同で作業する経験を重ね、また一歩確かに成長しました。(佐野)



みんなについて伊勢志摩へ！

高学年クラスの修学旅行もほとんど全て子どもが運営するのですが、脱線したり参加度が低かったり、過程は大変。スタッフはできるだけ手を出さないのが、やっと行程ができたのは2日前でした。鳥羽水族館とクルーズへ行くことに。実はこのクルーズですが、行くかどうか最後まで

で話し合いました。「行きたい子が少ないからやめた方が…」、「でも、〇〇ちゃんには6年生で最後だから実現させてあげたい」、「クルーズより水族館のショーを見たい」など、熱い議論を経て、何人かは念願のクルーズに行き、後から合流することに。みんなが納得して楽しむことができ、大満足。宿までの方向が分からなくなるハプニングもありましたが、自分たちの力で乗り切り、宿に着いた喜びもひとしお。2日目のパルケエスパーニャも満喫し、帰路につく頃には「疲れたけど楽しかった〜！」と、みんないい顔をしていました。「大変だったけど、とことん話し合ったからみんなで楽しい旅行にできた」という声を聞き、この経験が自信と支えになっていくのだろうと実感したのでした。(中尾)



小学部 秋のキャンプ

今年は、3年ぶりの甲山常設テントに泊まりました。3年前のキャンプのときは猛々しく感じられた風の音ですが、野外で寝る寒さを感じることは、子どもたちにとってきっとよい経験になるのではと思いました。キャンプは、当日の経験だけのものではないとあらためて感じました。それは、こどもの森のすべての活動にいえることですが、実行までに重ねられる話し合い、頭や手を使ってのしおりづくり。そして、当日どの活動もめいっぱい楽しんでいる子どもたち。山歩きにドキドキした

発行日：2016年1月10日
 発行者：認定NPO法人箕面こどもの森学園
 〒562-0032
 大阪府箕面市小野原西6-15-31
 tel&fax 072-735-7676
 e-mail info@kodomonono-mori.com
 URL <http://kodomonono-mori.com>

ユネスコスクール
 Member of
 United Nations
 Educational, Scientific and
 Cultural Organization
 UNESCO
 Associated
 Schools

り、飯ごう炊さんに悪戦苦闘したり、リクレーションの肝だめしなど、子どもたちが主人公だ！と感じられるように、大人たちが子どもたちの傍らでどうあればよいかスタッフが学べたキャンプだったのではないかと思います。(北出)

わたしたちと食のまつり

「食」のことを様々な視点から学んできた2学期のテーマ学習。自分たちの日常生活が、食を通じてどのように地球環境や社会と密接に結びついているのか、ということを考えてきました。その成果を発表する日。子どもたちから集めて決まった発表会のタイトルは「わたしたちと食のまつり」。模造紙やパワーポイントを使って、調べたものを発表する形だけでなく、壁新聞の掲示、ペープサート(人形劇)の上演や、育てた野菜を振る舞ったり、作り方の違うクッキーの食べ比べなど、発表方法は多岐にわたりました。低学年の音楽クラスは食に関わってくれている人たちへ感謝の気持ちを「いただきます ごちそうさま ありがとう」という歌にのせました。今回は学校関係者だけでなく、一般の方にも参加を呼びかけました。多くの方に参加していただき、「まつり」という名にふさわしく、賑やかで明るい雰囲気の中、子どもたちもたくさん刺激を受け、楽しんで発表していました。(藤丸)



【小学部】

《 テーマ作文 》

どうしてお母さんは
よその子をしからないの？

すみれ (3 年)

人の子におこったらあかんのかなあ〜と
思ってるかも。お母さんは自分の子のこ
とが好きだからおこると思う。

お母さんは人の子のせきにんがとれない
から自分の子にしかしからぬ。こわー
い人だとおもわれたくないからかな？

人の子がないたらあかんから自分の子に
しかしからぬ？

《 自由作文 》

パパのたんじょうび

そら (1 年)

パパのたんじょうびがたのしかった。
おりがみをきったやつをまいて、プレゼ
ントをわたしました。

《プロジェクト紹介》

クナイ・火矢・焙烙 (ほうろく) 火矢

りゅうのすけ (4 年)

なぜ作ったかと言うと、よしきくんが
作っていて自分も作りたくなったからで
す。

まずクナイの作り方を説明します。

- ①ダンボールをクナイの形に切る。
- ②切りぬいたクナイにテープを巻いてペ
ンで文字を書いて仕上げる。これでクナ
イの完成です。

次は火矢の作り方を説明します。

- ①まず 35 cm の棒と 10 cm の棒 2 本をボ
ンドとひもで固定する。

- ②矢尻と矢羽をダンボールで作り、ボン
ドで固定する。これで火矢の完成です。

最後に焙烙火矢の作り方説明します。

- ①紙ねん土を丸くしてひもを付ける。
- ②紙ねん土がかたまったら絵の具をぬる。
- ③絵の具がかわいたらニスをぬる。

これで焙烙火矢の完成です。

感想は、焙烙火矢をはじめ紙で作って
うまくいかなかったので、紙ねん土で作っ
てうまくいったからよかったです。反省点は
クナイの持ち手がおれやすかったのでそこ
を強く作ればよかったです。次にやりた
いプロジェクトは今製作中の郡山駅をし
あげたいです。



【中学部】

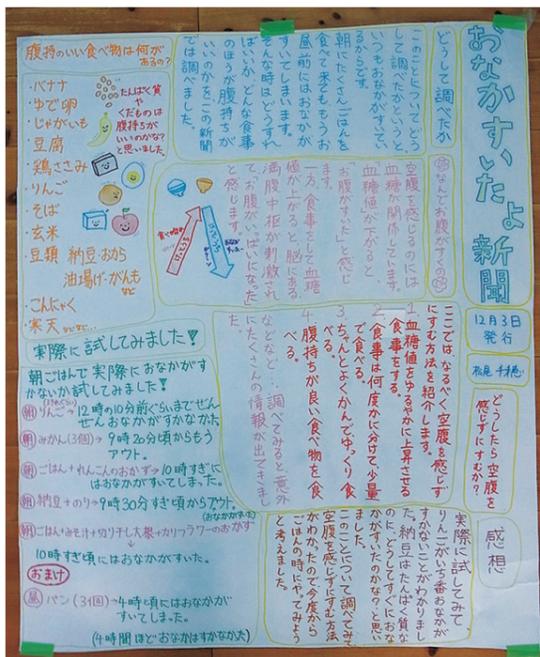
《 W.O. と日本語共同 》

中学部の学習のメインは「ワールド・
オリエンテーション (W.O.)」です。一
人ひとりがいづく『なぜ』を出発点とし、
探究しながら学ぶプログラム。テーマは
身近なものから地球規模の課題まであり、

それにそったさまざまな体験・経験
を通して、子どもたち自身が自分の
研究テーマを設定していきます。そ
のテーマに基づいて研究し、発見し
たことをまとめ、発表します。

全体のテーマは『食』でしたが、
個人テーマは、中毒について科学的
な観点でまとめた「ファストフード
中毒」、フルーツの意外な一面を発
表した「フルーツ」、ハンバーガーを何
種類も買って放置しておく実験をした
「マクドナルド」、環境と食のつながりを
化学の視点で分析した「環境と食のつ
ながり」、人工甘味料や添加物の効果
について調べた「人工甘味料と砂糖
のこわい話」、「添加物」など。

全体の内容は『食』でしたが、個人テーマは、中毒について科学的な観点でまとめた「ファストフード中毒」、フルーツの意外な一面を発表した「フルーツ」、ハンバーガーを何種類も買って放置しておく実験をした「マクドナルド」、環境と食のつながりを化学の視点で分析した「環境と食のつながり」、人工甘味料や添加物の効果について調べた「人工甘味料と砂糖のこわい話」、「添加物」など。



日本語共同では壁新聞を作成しました。
いつもお腹を空かしている自分の身体で、
朝ごはんのメニューによってお昼までの空
腹感がどうなるかを実験してまとめたユ
ニークな作品をご紹介します。(佐野)

「おなかすいたよ新聞」 千穂 (中 1)

NPO 法人箕面こどもの森学園
の活動にご支援を！

箕面こどもの森学園は、子どもたちの自
己肯定感を育み、自立共生的成長を促
し、持続可能な開発のための教育 (ESD)
を推進してる NPO 法人立の学校です。本
学園の教育と活動の趣旨にご賛同いた
だき、ご支援いただければ幸いです。

次のような支援の方法があります。

◇会員になる ※ (年会費 3,000 円)

◇支援金を寄付する ※※

◇資材・情報・労力を提供する ※※※

※会員になっていただける方は、学園ホ
ムページの「ご支援のお願い」<http://kodomono-mori.com/shien/shien.html> をご
覧ください。

※※ 支援金をご寄付いただける方は、学
園ホームページの「中学部開設寄付金引
受フォーム」<http://kodomono-mori.com/chugakubu/kifu.html> をご覧ください。

※※※ 資材・情報・労力をご提供いただ
ける方は、学園事務局にご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676

e メール info@kodomono-mori.com

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 9 月～12 月

中学部校舎が完成しました！

昨年 8 月に着工した中学部校舎が、予定
通り 12 月初めに完成しました。新校舎は
木造 3 階建て延床面積が 100 m² (31.2 坪)。

12 月 22 日に、中学生・スタッフ・お手
伝いの保護者の方たちで、新校舎へ家具や
学習材などを搬入しました。プーンと木の
香りのする部屋に棚や机を並べると、学習
室という雰囲気になりました。子どもたち
も「3 学期が楽しみ！」と言っていました。

この建物を建てるのに 2 千万円ほどかか
りました。当初、そのような大金が果た
して集まるかどうか心配していましたが、た
くさんの方々からご寄付をいただき、幸い
なことに寄

付金で建設
費を賄うこ
とができま
した。ご寄
付いただ
いたみなさ
まには厚く御
礼申し上げ
ます。(辻)



日中・小中高校生 ESD 推進の
ための学びあい交流会 2015

12 月 19、20 日に、中国と大阪のユネ
スコスクール (ASPnet) が集い、子ども
たちの視点で持続可能な社会や未来を考
えていく交流会があり、学園から 4 名
の子どもたちが参加しました。1 日目は、
中国と日本の学校紹介と、各学校の ESD
の取組みについて発表を行いました。2
日目は、「持続可能な未来に向けての課
題、その解決策、そしてより良い未来の
姿」を、子どもたちがダンスで表現する
というプログラムがありました。国境を
越え、また小学生から高校生までがと
もに協力し、ダンスづくりに向かう子ども
たち。『Happy』という曲にのり、手を取
りあい楽しそうに踊る姿は、そこにいる
みんなを大切に想うような、温かく友好
的な雰囲気にあふれていました。(高原)

認定 NPO 法人に認証されました

昨年 6 月に認定 NPO 法人の認定申請をし
ていましたが、10 月 6 日に大阪府から認
められました。認定 NPO 法人というのは、
運営が適正で、かつ事業活動が公益性の増
進に寄与する団体として一定の要件を満
たした NPO 法人に認められる資格です。
個人または法人が認定 NPO 法人に寄附を
行くと、税制上の優遇措置が受けられます。
例えば、個人が認定 NPO 法人に寄附をす
ると、所得税の控除 (寄付額の約 40% な
ど) を受けることができます。詳しいこ
とは学園ホームページ http://kodomono-mori.com/shien/zeisei_yugu.html をご
覧ください。認定 NPO 法人には、活動内容の
公益性や経理情報の公開性が求められるの
で、気を引き締めて運営に取り組んでま
います。(辻)

認定 NPO 法人に認証されました

認定 NPO 法人に認証されました

CB・CSO アワード優秀賞を受賞

大阪 NPO センターが主催する CB・C
SO アワード 2015 にて、箕面こどもの
森学園の取り組みが、優秀賞に選ばれま
した。今回、賞をいただいたのは、これまで
たくさんみなさんが関わってくださった
おかげだと思えます。本当にありがとうご
ざいます。今回の受賞を励みに、これか
ら、民主的に生きる市民を育む学校を市民
の手で創る活動を続け、私たちが思い描く
社会をみなさんと一緒にカタチづくって
いきたいと思えます。今後とも、よろしくお
願いします。(藤田)

ESD ユース・コンファレンス

10 月 10・11 日に第 2 回 ESD ユース・コ
ンファレンスが東京で開催され、学園から
中尾・高原の 2 名が参加しました。『ユ
ースのプラットフォームづくり』を目指し、
全国の若手 ESD 実践者や研究者など 50 名
が集まりました。2 日間にわたりお互いの
活動を共有し、ESD を推し進めていくた
めのアイデアを出しあいました。また、箕
面こどもの森学園も分科会を担当し「子ども
たちが話し合いで物事を解決する」ことを、
ワークショップを通してお伝えしました。
多くの人と出会いつながり、素敵な取り
組みの数々を知ることで新たな刺激を受け、
また日々の私たち自身の取り組みをふり返
る貴重な機会になりました。(高原)

子育てカフェ開いてます

子育てで一番大切なもの。それは子ども
の自己肯定感を育むこと。明橋大二さん
のこのお考えに賛同して開催している子
育てカフェは、9 月 16 日に第 3 回「やる
気スイッチ ON！」、11 月 18 日に第 4 回
「ほめ方、叱り方」と題して行われました。
明橋先生の「子育てハッピーアドバイザー」
のエッセンスを心安あゆみ (認定子